

いきいき市民活動センターの評価方法について

1 評価の基準

各センターの活動について、「市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業」の取組内容に関する評価を行うとともに、センター運営に関して、「貸館事業」、「情報の発信」、「業務執行体制」に関する評価を行う。

評価項目	主な着眼点
市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業	○計画の具体性及び独創性 ○幅広い市民の交流を目的として、広く市民の参加が得られるよう努めているか。 ○地域、利用者及びNPOなど他団体との連携 ○事業の広報方法 ○利用者ニーズの把握及び次回事業への反映の方法
貸館事業	○貸館業務を適正に行っているか。
情報の発信	○情報の発信を積極的に行っているか。
業務執行体制	○施設の維持管理を適正に行っているか。 ○市民活動支援に必要な人材育成がなされているか ○管理運営業務に係る経費の取扱い

2 評価の参考とする資料等

- ・ 市民活動支援・活性化事業等
 - ・ 貸館事業
 - ・ 情報の発信
 - ・ 業務執行体制
- } 事業報告書等

事業報告書並びに京都市が実施した業務及び財務監査結果を基に評価
 なお、評価については、監査時点での業務執行に係るものである。

3 評価方法

各センターの施設規模、地勢、交通利便性、人口構成等の立地条件や指定管理者の特長等、施設管理運営上の条件がそれぞれ多様であることから、一律の評価軸で評価を行うことは困難であると判断し、センターごとに、評価項目について、文章記述による評価を行う。

評価に当たっては、令和5年度の評価を受けて令和6年度にどのように進展したのかという点を踏まえ、センター運営の質の向上につながることを主眼に、評価できる事項、課題となる事項などについて意見を付す。

また、現指定管理期間の最終年度における「京都市いきいき市民活動センターの今後の在り方の基本方針」を踏まえた更なる取組の発展に向けて、各センターに対して、「令和7年度に向けた助言等」を記載する。

【参考：令和6年度評価報告書 北いきいき市民活動センター】

ア 令和5年度の評価

評価項目	附帯意見
市民活動支援・活性化事業	・ 文化的な地域課題や背景を継承するための取組や、アートやスポーツといった老若男女問わず関わりやすい事業を多く実施している。多様な立場の人が事業に参加することで多様性の理解が促され、まちづくりにも活かされるという好循環が生まれている点は評価できる。 ・ 近隣の佛教大学と連携し、大学の専門性をうまく活用しながら、地域福祉活動の促進とセンターの認知度向上に役立てている点は評価できる。今後も学生が多い地域特性を活かし、ボランティアの養成事業など次世代への継承に期待する。
貸館事業	・ 安定した利用件数は評価できる。また、利用団体数が昨年度より50団体増加している点も評価できる。
情報の発信	・ ホームページや各種SNS、チラシなど多様な媒体を活用した情報発信に取り組んでいる。 ・ 利用者目線での情報発信がなされている点も評価できる。
業務執行体制	・ 施設の維持管理については、概ね問題なく行われている。 ・ 収支状況については、管理運営業務の適切な執行のために必要な経費支出を効率的に行っている。

イ 令和6年度に向けた助言等

① 市民活動支援・活性化事業をはじめとする事業全般 ・ 令和3年度以降、センター利用団体等から実行委員会を立ち上げイベントを実施するなど自主化に向けて着実に取り組んでいる。引き続き市民活動を支援するというセンターの役割を意識して事業を実施してもらいたい。 ・ また、実行委員会に参加する諸団体の話し合い、コミュニケーションが継続されるよういきセンが支援していくことを期待したい。 ・ 複合施設となった利点を活かし引き続き利用者の幅を広げるとともに、利用者間でも新しいつながりを作り、相互理解を深めることができるよう支援することを引き続き期待する。 ・ イベントの実施に当たっても、各団体がそれぞれの強みや良さを発揮しながらも市民参加のハードルは低めに設定されるなどしており、今後も皆が参加できる事業の実施を期待する。 ② 施設管理等 ・ 貸館について、既存団体の利用にとどまらず、社会に必要とされている団体の設立を支援するという視点での利用者の開拓にも期待する。 ・ 来館者に対する窓口サービス調査の結果、大変満足という回答が他の施設よりも少ない。要因を分析・改善し、利用者満足度の向上に努めていただきたい。 ・ 情報の発信については、今後もターゲットに合わせた多様な媒体を活用して、発信内容を適宜見直しながら、事業や施設の情報をより幅広い層に広域的に発信する取組を続けていただきたい。 ・ 引き続き、ふれあい共生館に入居する各団体とのつながりを意識し、共に地域内外の関係団体との連携に取り組み、より一層の相乗効果が得られるよう努めていただきたい。
--